

事例番号 20

(1) タイトル

教科書や参考書等のデジタル化（スキャナー）で自学自習できる環境作り，授業での活用事例

(2) 事例の対象となる児童生徒について

本校の児童生徒（おもに普通学校に準ずるクラスでDMD筋ジスの児童生徒）

(3) 使用する機器（支援機器）名称と特長

①支援機器の名称

- a. 「ドキュメントスキャナー（富士通 ScanSnap）」
- b. 「A 3 対応スキャナー（EPSON）」

②特長

- a. A 4 の紙媒体を高速でデータ化できる。（JPEG,PDF に変換）
- b. 本などを開いたままスキャニングでき，データ化が容易。

(4) 使用した機器を選定した理由

とにかくスキャナーの難点は一つずつスキャナーをしなくてはならない点で，膨大な時間がかかることが難点であった。そこで高速にデータ化ができるドキュメントスキャナーにより効率化を図った。ただA 4 までにしか対応していないことと，本などはスキャニングできない。本などのスキャニングの高速化はA 3 対応のスキャナーですることにした。

(5) 選定のプロセス

教科書や参考書などのデータ化をしてパソコン上で見られるようにしたいという教科担任の要望があり，本校情報部で検討し機器の選定を行った。

(6) 個別の指導計画と個別の教育支援計画

とくに記載なし

(7) 指導の内容

とくに記載なし

(8) 支援機器の使用効果あるいは，指導の効果と支援機器の評価

自学自習はもちろんのこと，普段の授業において日常的に自分で見たい資料を見ることができるとして学習効率が上がった。病院に戻って自学自習する際も，以前であれば介助者に本をめくってもらいながら学習していたが，パソコンの電源を入れてもらえばデータにアクセスでき自学自習できるので，心置きなく学習に専念できた。

(9) まとめと今後の課題

本校児童生徒にとって，教科書や参考書をめくることが年齢を重ねるにつれ難しくなってくる。そうしたときに，データ化は効果的であるが，膨大な時間と労力がかかるため，少しでも

省力化できることが課題である。また、電子化には著作権の問題があり、私的利用に限られることに注意が必要である。電子書籍も選択肢の一つになり得るが、価格が高いという問題もある。

(10) 文献（引用文献・参考文献）

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「特別支援学校におけるアシスティブ・テクノロジーの活用ケースブック－４９例の活用事例を中心に学ぶ導入，個別の指導計画，そして評価の方法－」（2012/3）に記載された内容である。